

性的マイノリティに関する取り組みの評価指標 「PRIDE 指標 2021」において「ゴールド」を3年連続で受賞

ヤマハ株式会社は、任意団体「work with Pride」が策定する企業・団体などにおけるLGBTQ^{※1}などの性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE 指標^{※2}2021」で最高位「ゴールド」を3年連続で受賞いたしました。

ヤマハグループは、人材の多様性を新たな価値創出の源泉と考え、それぞれの個性を尊重し、活かしていくことで、さらなる企業競争力の強化・成長・発展を目指しています。

その一環として、性的マイノリティ当事者が働きやすい環境づくりや、多様性を尊重した企業活動を行うため、LGBTQへの理解や支援の取り組みを進めています。これまで、LGBTQのAllly（支援者）であることを表明するロゴの制定やステッカーの配布、職場における理解促進ツールの作成などを通じて社内への理解促進に努め、さらに、LGBTQ相談窓口の運用、社内制度においては、家族の定義に同性パートナーを含めるなど、仕組みの整備を進めてきました。

今年度は、世界各地でLGBTQの権利を啓発する活動・イベントが実施されるPRIDE月間の6月に、ヤマハグループ全体でグローバルキャンペーンを展開し、SNSでの発信を行うなど、性的マイノリティへのエンパワーメント向上に向けた活動にも積極的に取り組みました。

今後もLGBTQへの一層の理解を含むダイバーシティ&インクルージョンの促進に努め、「感動を・ともに・創る」企業として、多様な個性が活躍できる風土づくりに努めてまいります。



「PRIDE 指標」の「ゴールド」マーク



「ヤマハLGBTQ+^{※1}」ロゴ



(株)ヤマハミュージックジャパン
によるTwitter投稿



Yamaha Music Europe GmbH
によるInstagram投稿

※1 LGBTQとは、Lesbian（レズビアン）、Gay（ゲイ）、Bisexual（バイセクシャル）、Transgender（トランスジェンダー）、Questioning（クエスチョニング）/Queer（クィア）の頭文字を取った、性的マイノリティ（少数派）を表す総称。なお、LGBTQ+は、それ以外の性を表す、+（プラス）を加えた表現。

※2 PRIDE 指標とは、セクシャルマイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」が2016年に策定した、日本で初めての企業・団体などにおけるLGBTQなどのセクシャルマイノリティに関する取り組みの評価指標。「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度/プログラム」「社会貢献/渉外活動」の5つの指標で採点され、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の3段階で評価される。

* 「work with PRIDE」ウェブサイト

<https://workwithpride.jp/>

* ヤマハグループのダイバーシティの推進とインクルージョンについて

https://www.yamaha.com/ja/csr/human_rights_and_labor_practices/diversity/

■ この件に関するお問い合わせ先：

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 佐藤 Tel. 053-460-2210